

# 加工前に適切な NC 制御パラメータを導く金型シミュレーション技術

NC program simulation technology for Die-mold to set suitable parameters before machining

片岡 雅高\*  
 [OKUMA Corporation] オークマ(株) 佐々木 駿也\*\*  
 森 弘樹\*\*\*

## 1. はじめに

近年、自動車に代表されるプレス成形品のデザインは個性化・複雑化が進んでおり、滑らかで美しい曲面をもつデザインが増加してきた。加えて労働人口の減少、労働時間の短縮といった社会環境の変化に伴い、手作業で行われる磨き時間を削減するため、加工による

る面品位向上の要求が高まっている。また、脱炭素化要求の高まりもあり、生産リードタイム短縮による消費電力量と二酸化炭素排出量の削減が求められている。

本稿では、磨き時間の増加となる、面品位が悪化する箇所を NC プログラムから推定し、プログラム補整機能「Hyper-Surface」による改善効果を加工前に確認することで面品位低下による後戻り作業をなくし、生産リードタイムの短縮に寄与するシミュレーション技術を紹介する。

\*Masataka Kataoka, \*\*Shunya Sasaki, \*\*\*Hiroki Mori : ソリューション&システム技術部 金型プロジェクト  
 〒480-0193 愛知県丹羽郡大口町下小口 5-25-1

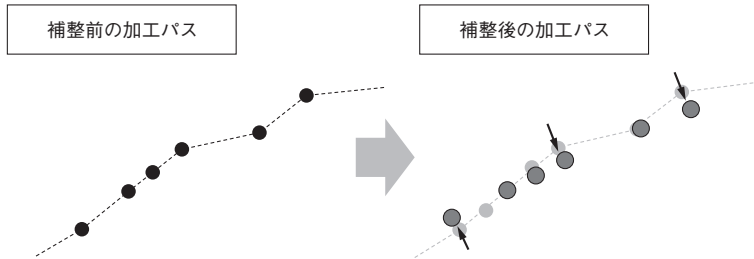


図1 ゆらぎ補整機能

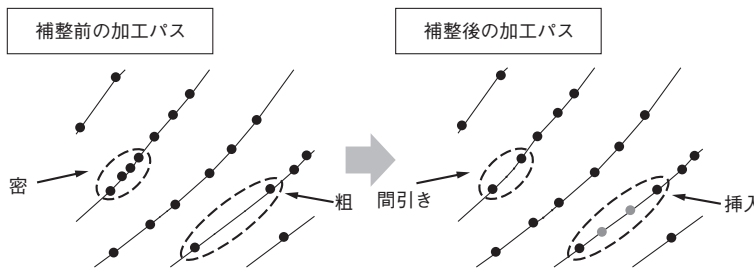


図2 粗密補整機能

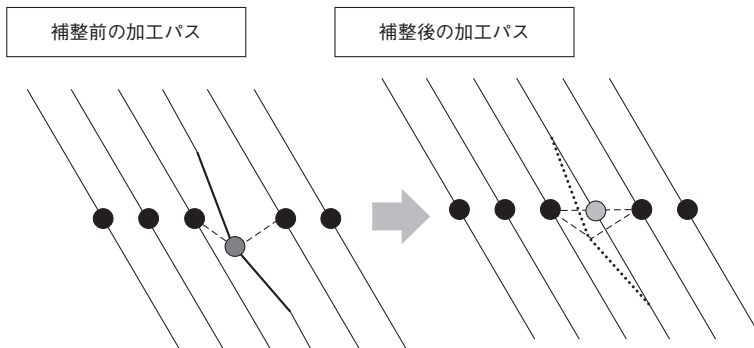


図3 隣接パス補整機能